



たんぽぽ通信

明德やちまたこども園 地域子育て支援センター 『ほっとステーションたんぽぽ』
〒289-1115 八街市八街ほ 559-2
☎ 043(488)4919

支援センターお休みのお知らせ

八街市からのご指導により、コロナウイルス感染予防の為、利用して下さる方々の安心・安全を考え、今月いっぱい、たんぽぽはお休みします。

お休みの日程は、状況に応じて変更しますので、明德やちまたこども園のHPをご確認下さい。尚、この間、電話相談（9：00～17：00）は行っています。気軽にご相談下さい。

皆さま体調に気をつけてお過ごし下さい。また、お会い出来るのを楽しみにしています。

ディズニー映画のインサイドヘッドのDVDを観ました。登場する感情のキャラクターは、ヨロコビ・ムカムカ・イカリ・ビビリ、そしてカナシミ。私たちの感情には色々あり喜び以外の感情は、マイナスのイメージを持ちがちです。私自身もそう思うことがあり、イライラや怒りをどうしたら抑えていくことができるのか悩み、考えます。

この映画は主人公のライリーが今までとても楽しく暮らしていたミネソタ～サンフランシスコへ引っ越しをし、そこでの新しい生活の中で頭の中の様々な感情たちが活躍し、ライリーの生活を私たちに映し出していきます。

ライリーはアイスホッケーが大好き。それは楽しい思い出としてライリーの記憶に残されています。そのことは、「ヨロコビ」自身もライリーの大切な思い出として大事にしています。何故、ホッケーが好きなのか？様々な出来事が起こる中で、その大好きな理由が、本当はある日の試合に負けたことによって出てきた「カナシミ」が発端だったことがわかります。負けて悔しくて、心の中に悲しみが湧いてきて。でも、そんな時に、チームメイトや両親たちがライリーの頑張りを褒めて励まします。これが彼女の中で嬉しい、心強い思い出と変わり、ライリーの記憶の中で「ヨロコビ」として大切に生きていたのです。得てして、プラスになりそうな事柄や感情を評価しがちですが、様々な感情とお互いの感情が交差し合っって人の思いを創っていくことを改めて感じました。

2歳児の男の子T君。1週間のうちに何度か遊びにきます。来年度、幼稚園入園を前に言葉も身体も心も大きく成長したのを感じます。

彼は、なかなか自分の意志がはっきりしています。やりたい事、使いたい玩具、他の人にこうして欲しい事等伝えるのも上手になってきましたが、その反面その思いも強いので、相手がそうならない時の意思表示は身体全身で表すことも多いです。その為、当然友達とぶつかることもあります。そのぶつかりの様子は、T君のお母さんだけでなく、相手のこどものお母さんや、その周りにいた人たちや職員と、こどもの発達の段階、この時期何を大切にしていきたいか等言葉を交わしながら彼らの様子を見守ってきました。

ある日、自分より年下の子が、T君が遊んでいる車の所に来て、それを持ってしまいます。その時、T君は何か言いたげでしたが、その言葉をちょっと呑み込みました。その後、やんわりと他の車と小さい子が持っている車と交換することに成功しました。そんな事が何回か続くようになりました。

もう少し前のT君ではありません。そして彼だけではなく、どの子達もそんな風に友達と関わり合いながら成長し合っているのを感じました。こんな彼らの成長を感じるたび、日々の様々な出来事が、彼らをこんなに大きくしていくのだと改めて感じ、その傍らに居られる事にとっても感謝の気持ちでいっぱいです。